

産業廃棄物処理計画書

令和 3 年 6 月 30 日

大分市長 殿

提出者

住 所 大分市青崎1丁目2番36号

氏 名 志村生コンクリート株式会社

代表取締役 古手川正治

(法人にあっては名称

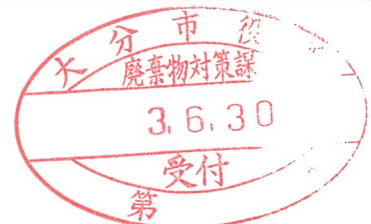
及び代表者の氏名)

電話番号 097-522-1111

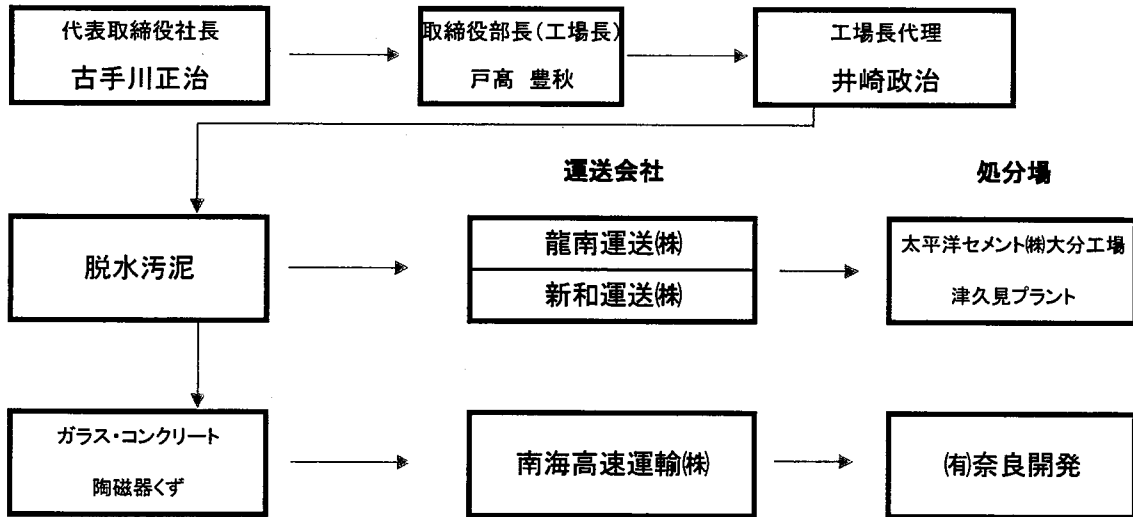


廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	志村生コンクリート株式会社
事業場の所在地	大分県大分市青崎1丁目2番36号
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	窯業・土石製品製造業(生コンクリート)
②事業の規模	資本金9,800万円
③従業員数	12名
④産業廃棄物の一連の処理工程	残コンクリートを分別機にかけ、砂、バラス、汚泥に分離し、砂・バラスは、
	納入業者の持ち帰りにて再生する。
	汚泥は、脱水機にて脱水処理を行いケーキ状にし天日乾燥後、トラック
	にて太平洋セメント大分工場津久見プラントに運搬し焼却処理をする。
	コンクリート殻等は、(有)奈良開発に於いて埋め立て処理を行う。



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	脱水・汚泥	ガラス・コンクリート 陶磁器くず			
	排出量	611t	519t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)					
	戻りコンクリートでブロック製作を行った。					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	脱水・汚泥	ガラス・コンクリート 陶磁器くず			
	排出量	400t	400t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)					
	引き続きのブロック製作を行う。 現場との連絡を、密に取合い残コンの発生を少なくする。					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 脱水汚泥・コンクリートがらに分別し産業廃棄物として処理する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがらを粉砕機にかけ再生ランとして利用する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	脱水・汚泥	ガラス・コンクリート 陶磁器くず			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)					
	工場へ持ち帰り残コンクリートを少なくする。					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	脱水・汚泥	ガラス・コンクリート 陶磁器くず			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)					
	コンクリート殻を、粉砕し再生クラッシュランにて再利用する。					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)					

①現状	【前年度（令和 2年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	脱水・汚泥	ガラス・コンクリート 陶磁器くず			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	0t	0t	t	t	t
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度（令和 2年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	脱水・汚泥	ガラス・コンクリート 陶磁器くず			
	全処理委託量	611t	519t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	611t	519t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)						

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	脱水・汚泥	ガラス・コンクリート 陶磁器くず			
	全処理委託量	400t	400t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)					
※事務処理欄						

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

